

令和2年度教科用図書八重山採択地区協議会 議事録

日時	令和2年8月6日(木) 前半 10:30～12:20 後半 12:55～16:00
場所	石垣市立図書館2階視聴覚室
参加者	会長 石垣安志 副会長 田原伊明 委員 浦内克雄、南和秀、入慶田本たか子 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
事務局	前三盛敦(石垣市教育委員会学校教育課長) 波平長真(石垣市教育委員会学校教育課指導係長)

事務局

これより、令和2年度教科用図書八重山採択地区協議会を開会いたします。
本日の資料について説明します。2ページ、3ページに、「教科用図書八重山採択地区協議会の教科書選定の基本方針」が載っています。6月に行われた定期総会にて、全委員で確認いたしました。今一度ご確認をお願いします。
次に、4ページから7ページは、教科用図書八重山採択地区協議会規約です。こちらでもご確認いただきますようお願いいたします。
規約第5章の選定の手順については、後ほど、ご説明いたします。
規約第6章に「議事録及び資料の公表と守秘義務」とあります。
議事録を作成しますが、マスクの着用での発言となります。全委員に届く声で発言、記録できるような発言をお願いします。
資料8ページ、9ページが、現在、石垣市と与那国町の公立中学校で使用されている教科書の一覧になります。ご確認をお願いいたします。
それでは、会順にのっとり、進めてまいります。
初めに会長あいさつです。石垣安志会長、よろしくお願いいたします。

会長

会長挨拶

事務局

それでは、会順3の議事「教科用図書の選定」の協議に入ります。
協議会の議長は、協議会規約第7条1項で「会議は会長が招集し、その議長となる」とありますので、石垣会長が議長を務めます。この後の議事進行をお願いいたします。

議長

ただ今から、教科用図書八重山採択地区協議会の選定協議を始めます。
まず、本日の会議を公開とするか、非公開とするか、お諮りいたします。
去った定期総会において、静ひつな環境において協議するために、採択までの協議を非公開とすることを全委員の皆さんで確認、承認していただいております。
本日あらためて全委員の皆さんに「会議の公開、非公開について」ご確認させていただきます。本日の会議は非公開としてよろしいでしょうか。

委員

はい。

議長

ありがとうございます。では非公開とさせていただきます。
規約第7条5項と文科省の通知にもありますが、選定から採択まで、静ひつな環境下で行うことが求められておりますので、本日の会議は非公開といたします。

議 長

会議での発言を記録し、事務局が議事録を作成します。

合わせて、定期総会でも確認したとおり、本日の会議の内容については、石垣市教育委員会及び与那国町教育委員会が教科書を採択するまで非公表といたします。採択する日まで、委員の皆さんは会議の内容を口外しないようにお願いします。

まず始めに、本日の教科書の選定方法について、事務局より説明をお願いします。

事務局

教科用図書の選定方法についてご説明をいたします。

資料 5 ページ、規約第 5 章「教科用図書の選定」を読み上げます。

協議会規約第 9 条、教科用図書の選定は前条（第 8 条）の第 4 項の報告及び沖縄県教育委員会が作成した選定資料を参酌し、協議会の会議において協議し、委員全員の一致において決する。

第 2 項、前項の協議が整わない種目があるときは、委員は当該種目についてそれぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。

第 3 項、前項の場合において過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の得票を得た 2 種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。

第 4 項、前項の場合において、投票を行うべき 2 種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるにあたり得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決する。とあります。

決定の前提は、全会一致ということですが、投票での決定になる際には、投票用の図書選定シートをお配りしますので、選定したい教科書を 1 つ選んで投票していただきます。

その後は、第 3 項、第 4 項に沿っていきます。

図書選定シートは、事務局が回収、集計をいたします。なお、投票の際には、議長は投票に加わりません。

以上が選定の方法です。ご確認したいことはございますでしょうか。

議 長

それでは、規約の手順にのっとり、協議を進めてまいります。

本日の議事は、令和 3 年度使用中学校教科用図書の選定についてです。

まず、協議に進めるにあたり、教科用図書調査員が作成した調査研究報告書について、事務局から説明をお願いします。

事務局

過日、各委員にお配りした調査研究報告書は、令和 3 年度使用中学校教科用図書の調査員が、「教科用図書八重山採択地区協議会の教科書選定の基本方針」と「沖縄県教育委員会の教科用図書選定資料」をもとに調査研究を行い作成したものです。

文部科学省が作成した教科書目録に記載された全ての教科書について、各教科 3 名の調査員が観点別に調査研究しております。

調査研究では、それぞれの観点項目において、教育基本法や学習指導要領等をしっかり踏まえている場合や、県教育委員会選定資料の記載内容と同様なものについては、記載されておりません。

記載されている内容は、さらに付け加えて評価したい点のみとなります。評価の観点は、最初に説明いたしました「基本方針の選定」の観点です。

記載内容の文頭に「しろまる・○」が付いる文は、学習指導する際に「効果的」であると調査員が考える点や内容です。

文頭に「黒の下向き三角・▼」が付いている文は、学習指導する際に「補足」「注意」等が必要と調査員が考える点や内容になります。

また、調査研究報告書においては、調査員による教科書の順位付けは行っておりません。以上、説明を終わります。

議長 ただいま、調査研究報告書についての説明がありました。ご質問はありますか。
例えば、全く何も記載のない観点の欄は、県教育委員会選定資料と同様ということですね。

議長 それでは、協議を進めていきます。
教科の協議順は、報告書にある順で行いますので、よろしくお願いします。
始めに、「国語」から協議を行います。

協議を充実させるために、委員の皆さん全員に発言していただきます。発言の際には、選定したい種目、その理由を2分以内で述べていただきたいと思います。自分の選定した種目が、他の委員と同じであっても、意思表示をお願いしたいと思います。

それでは、委員の皆さんからのご意見をお伺いしたいと思いますので、私からと思う委員がいましたらよろしくお願いします。

この後、各教科の協議毎に、対象教科教科用図書（見本）を議長前のテーブルに設置

それでは、お願いします。

①中学校「国語」

委員 国語ですが、私は2社に絞りました。東書と光村です。東書のほうが「言葉の力」に力を入れています。光村は語彙力型になっていました。2つを比較したとき、東書には方言を扱う欄がありました。今さかんに言われている方言です。光村では扱いのない方言が、東書にはありましたので私は東書を推したいと思います。

委員 私は東書を推薦します。小学校とのつながりという視点から系統性を見て考えました。最初は光村がいいとも思いましたが、小学校も光村から変わりました。子供達にとって見やすいという観点からも選びました。日常を描いたキャラクターによる問かけや、1年生の最初の教材は小学校と同じ書体であり、2・3年生より大きな活字で掲載されているという点。それから、カラーユニバーサルデザインを採用し、効果的な学習ができるように配慮されているという点から東書を推薦します。

委員 私も2社になりました。東書と三省堂です。大変悩んでいます。三省堂さんは学び方を伝えるという方法論をよく描いているなあと感じます。そして語彙力を広げるための「コラム」なども子供達に見やすいのではないかなあと感じます。沖縄八重山関係のもので「宮古島のサシバ」のお話が出てきたのも良かったと思いました。

しかし、東京書籍もとてもいい本だなあと思いました。言葉の語彙を広げるための資料がとても充実しています。後ろの資料に「批評する言葉」「良い印象を残す言葉」を並べるなど、資料と教材がとても関連・連動していていいなあと思います。資料を見た際に、「この教材で学習しました」とか、教材を見たときに「このページに資料がありますよ」と丁寧に掲載されているところがいいと思いました。

4社の中で東京書籍が1番最近の現状を取り巻く内容を載せていると思います。新しい

言葉、現代を取り巻く状況が、東京書籍には詳しく現れているなどという感じがしましたので東京書籍を推薦します。

委員 私は、東京書籍さんがいいと思いました。中学校で習得したい「言葉の力」を学んで、その知識を補完し、さらに資料編で深い学習ができるような資料構成がされています。生徒にとっても学びやすいような構成になっていると思います。

委員 私も東書を選択しました。主な理由は、「目標」、「問いかけ」、「言葉の力」、教材の後の学習のページで「見通しを持つ」、「捉える」、「読み深める」、「考える」、「振り返る活動を通して」と、言語活動の充実、主体的な学びや対話ができるような配慮が随所に見られます。教科の目標を達成するには十分だと判断しました。

委員 東書と三省堂で迷ったんですが、東書を推薦します。理由としては、東書は知識技能の習得と主体的な学びとなる資質能力を「言葉の力」として明示してあって、何を学ぶかが分かりやすいという気がします。2点目に「学びの扉」、「学びを支える言葉の力」として、「論理的な言葉の力」や「文学的な言葉の力」、「対話的な言葉」など、教材が明確にされて学習の方向性が明確であるという気がします。

何よりも、中学生に触れさせたい作品が東書の方に多方面から採用されています。池上彰さん、芥川龍之介、夏目漱石、島崎藤村と、多方面から中学生に触れさせたい作品と作者がたくさん盛り込まれているということで東書を推薦します。

委員 私も東京書籍を推薦します。理由としては、1年生であれば小学校で学んだこと、その1年で学ぶこと、そのようなことがきちっと謳われて目標になります。2年生・3年生についても同様であります。学習に入りやすいと思いました。

沖縄関連につきましても、白むくの少女、郷土の良さを伝えようや環境等々、沖縄の題材も扱ってます。そして、D マークを使ってインターネットで学習ができる映像や音声も提示されています。子供たちの学習意欲が湧いてくるのではないかと、学びがもっと深くなるのではないかと思います。

中学生の感性にあった新たな作品などもたくさんあり、豊かな情操、共感するような題材が多く掲載されていると思います。また、各学年において日本語探求の題材があり、1年生では方言と共通語を学ぶ、2年生は類義語対義語、3年生は言葉の移り変わりを学ぶものがあります。採択されれば、八重山において生徒たちが方言を学ぶ、触れるという機会にもなると思いますので東京書籍を推薦したいと思います。

議長 自分が推薦する教科書として全員が東書を第1に推しています。国語の教科書につきましては、東京書籍の教科書を選定してよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 それでは、中学校書写にうつります。

②中学校「書写」

委員 私は2つ、東書と教出を選びました。最初、教科書と連動しているという点と、執筆者による手書き文の練習ができる点で、東書がいいと思いました。しかし、小学校で習得した言葉を中学校で確認し、高等学校の学習にも繋げられるという観点や、振り返りのステップが明確に配慮されているということから教出を推薦します。

委員 私は教育出版を選びました。AB判の見開きで、「目標」、「考えよう」、「活かそう」、「振り返ろう」の授業の流れがとても把握しやすいと思いました。単元に入る前の「初めに」の導入が、興味を引く内容だと感じました。わかりやすく面白いです。例えば行書の指導に入る前に、「行書とは、人間が走る形だよ」という風に表現していたんですが、この導入が生徒の興味関心を引き付けると感じました。学んだ書写について、日常生活、学校生活や社会生活のあらゆる場面で使われているという図説が、とても豊富に載っています。そこから、書写は社会とこのようにつながっていくと、生徒達に伝えやすい教科書なのかなと思いました。

委員 私は教育出版を選びました。行書の書き方についてとか、筆の運び、筆脈などが分かりやすく表現されていたように思います。写真、図表なども見やすいレイアウトになっていたと思います。

委員 私も教育出版を選択しました。理由は2つ。1つは学習の進め方、「目標」、「考えよう」、「振り返ろう」等、授業と日常生活をつなげながら、話し合い活動を通した学び方になるように整理されていました。

2つ目は、書写を通して学んでいくことがとても分かりやすく、見通しを持って学習できると思ったからです。教材の配置については、学習的に明確化が図られています。既習事項に、新しい学習内容を無理なく積み重ねていけるような構造がなされている点を評価しました。

委員 私は東京書籍を推薦します。教育出版も見ましたが、東書の方がより写真と説明が効果的に載せられており、生徒にとって活用しやすいと思いました。それから、学習の進め方が明確にされていること。そして、書写の知識・技能を系統的に整理し示してあること。もう一点、1年2章で情報を整理した書き方が分かりやすくまとめられていました。情報は、現代的な内容にマッチするという点で東書を選びました。

委員 私は教育出版です。学習内容が伝わりやすい表記となっていると思いました。生徒が支障なく学習できる配慮があると思います。「学習を生かして」が、各教科と連動しているのではないかと思います。何より、実社会で活用できる図書だと思います。

委員 教育出版です。ワイドな画面で、学びのリンクで毛筆教材の動画もあり、子供達がくり返して練習できると思いました。

議長 それでは、東京書籍 1 名、教育出版 6 名ということで、委員からのご意見で協議を進めていきたいと思ひます。

委員 東京書籍と教育出版で迷っていました。それ以外の教科書ではないので、東京書籍を選定していいです。

議長 それでは全会一致で、書写は東京書籍を選定いたします。
続きまして、社会（地理）についてお願いします。

③中学校「社会（地理的分野）」

委員 社会地理的分野では、私は帝国書院を選びました。見開きページの中で、「学習課題」、「確認しよう」、「説明しよう」と、授業の流れが把握しやすいと思ひました。あと、図説カラーやキャラクターのレイアウトが鮮やかで、とても見やすいなという印象でした。

委員 私は帝国書院を選びました。写真、地図、グラフなどが見やすく表示されていて、興味関心を持てるような工夫がされていると思ひました。また、「振り返ろう」では、習得した知識を基に、主体的に学習できるような工夫がされているように思ひます。

委員 帝国を選択しました。主な理由は、他の 3 教科書と比べて、学習内容の質、量が適切と思われたからです。例えば「ブラジルにみる開発と環境保全」をそれぞれで比較してみると、その違いが明確でした。また、「コラム」や「やってみよう」などで、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを、発展的に考えられるように配慮がされています。主体的で深い学びにつながるように配慮されているなど感じました。

「環境」、「防災」、「少子高齢化」等の現代的課題が取り上げられていて、SDG's にも関連した内容やプラン等、将来の生活にあたって考えるべき課題の設定がしっかりとなされていると思ひました。

委員 私は東書を推薦します。理由は見開き 1 ページが、1 単位時間の内容で構成されていて、1 時間の授業で学習がしやすいということがまず 1 点です。それから、地理的な見方・考え方が明確に示されているという点。3 点目に、領土問題や現代的な課題、SDG's 等、しっかり扱われています。そして、4 点目に、「伝統的な家屋」として竹富島が、「土壌の流出を防ぐ」として石垣島が扱われている点等で東書を推薦します。

委員 私は帝国書院を推薦します。最初のページに SDG's を活動ごとに示しており、生徒達が解決を目指すための指針を示しています。その中に、「環境」、「防災」、「少子高齢化」等の現代課題を取り上げていました。SDG's に関連した内容も多くあり、様々な課題設定の配慮があるなあと思ひます。

それと、我々石垣市、与那国町、尖閣諸島について、関連のものを掲載しています。各「節」のまとめとして「節の学習を振り返ろう」があり、学んだことを確かめることや、

地理的な見方・考え方をしっかり学ぶということが出来るのが東書だと思います。紙面の色合いがとてもよく、紙面から学習に向かうワクワク感が一番ある本だと思います。

委員 私は帝国書院を推薦します。理由は全ページ、23 テーマに渡って「技能を磨く」が設定され、地理的な見方・考え方を磨くような構成になっています。また、領土、領域を正しく理解できるような配慮がされています。しかし、18 ページに日本の西端ということで、祖内の写真が載っていますが、できたら久部良の集落がいいなと思いました。

委員 私は帝国書院を選びました。教科書の使いやすさ、見やすさがいいです。単元毎のまとめもあります。教科書がワイド版になって、資料も大きく見やすいということもあげられます。それから、「小学校の学習を振り返ろう」で、学習した地理的な見方・考え方をふり返り、深い学びに繋がるように工夫されている点で帝国を選びました。

議長 それでは、帝国書院 6 名、東京書籍 1 名ということです。領土問題についてや SDGs、沖縄についてもそれぞれの教科書で扱っています。なるべく全会一致ということで各委員の意見をもっと聞きたいです。どうですか。

委員 帝国書院は最後に統計資料が載っていません。他の教科書には載っています。載っていないと生徒が使うときに困りませんか。東京書籍や他の教科書は載っていますが、帝国書院だけないです。しかし、帝国の地図帳には載っています。地理と地図をセットで使うようにしたのはと考えましたが。資料だけ参考にしたいときはどうするのでしょうか。

議長 帝国書院の地図帳には、統計資料が記載されていますが、教科書の方には載っていないとのことです。東京書籍には、教科書の方に世界や我が国のあらましについての資料があります。

委員 地図と教科書を一体に採用しないと使えない形になっています。私は、地図も同じ会社がいいと思っています。地図は両方ともいいです。

委員 地理と地図が、別会社になると問題が発生するのですね。

委員 ただ、地理も地図も同じ会社がいいと思うのであれば、連動させて問題ないと思います。

委員 しかし、生徒にとっての使い勝手はどちらがいいのか。

委員 帝国の地図と東書の地理を使った場合、データが重なることがありますね。

委員 それでは、連動していないことになりそうですね。私は、地図は帝国がいいと思っていますので、地理についても帝国に変えていいです。

議長 それでは、中学校地理の教科書は、全会一致で帝国書院となりました。選定いたします。

委員 帝国では 2020 年オリンピック・パラリンピックが開催「されます。」と記載されています。そのまま印刷するんですか。修正はありますか。

議長 来年度版の最終教科書はその部分は修正が入るかと思います。

委員 首里城もそのまま載せてありました。

委員 別の教科書では「焼失」という表記もありました。

事務局 今、お手元にある教科書は見本です。修正は可能な範囲で行われると思われま

議長 それでは、歴史的分野の選定に入ります。

⑤中学校「社会（歴史的分野）」

委員 歴史的分野では帝国を選びました。全体的にバランスよくまとめられているように思います。テーマに入り込みやすいように感じます。沖縄戦での内容で、八重山地方のマラリアの記述があったのもいい点だと思います。

委員 歴史的分野は帝国を選択しました。私の評価では帝国 1、東書 2 なのですが、差はほとんどありませんでした。しかし、現在使用している教科書であるという点と、沖縄県や八重山等との関連事項についてどう記載されているかという観点で、帝国の方が他の 4 教科書に比べて充実していました。「戦争となった沖縄」として特集ページがあり、「八重山列島などではマラリア発生地に移住させられたため、多くの病死者が出ました」等々、戦争マラリアの記載も評価して帝国を選択しました。ちなみに、戦争マラリアについて記載されているのは、帝国と育鵬社だけでした。

委員 私も帝国です。理由の 1 点目は、見開き 1 ページで、1 単位時間の学習内容が「見通し」、「展開」、「ふり返し」と分かりやすく構成され、生徒も学習しやすいということ。2 点目は、学習の流れが歴史的な見方・考え方を働かせるようになっていること。3 点目に、「コラム」で対話的な学び、深い学び、未来に向けて SDG's 等の課題に対応している点。4 点目に、戦場となった沖縄の「基地問題」、「領土問題」がしっかりと扱われている点。5 点目に、時代に関連する人物の扱いが、他教科と関連している点がいいと思います。

委員 私も帝国書院を推薦します。一番、沖縄の扱いが多いのではないかと思います。その中でも、石垣島の養老式典の説明文が掲載されていて、石垣市の歴史を学ぶのに良い資料だと思います。また、見開き両面を使用した「タイムトラベル」のイラストがあります。例えば、縄文時代とか江戸時代とか、その時代時代の絵があり、それを生徒達が目で見てイ

メージしながら学習意欲につながる構成になっています。とてもいいと思います。紙面がとても明るくて、文字の大きさもいいと思います。本文や資料なども統一されたレイアウトで、読みやすく配慮された資料だと思います。

委員 私も帝国を推薦します。理由は、歴史を作ってきた人々の姿が、イメージやイラストで表されていることです。それと、二次元コードで WEB コンテンツにつながります。これからのタブレット時代において、個人で学習する時、自学自習がやりやすい教科書だと思います。先ほどもありましたが、「タイムトラベル」で時代の特色をつかめるような工夫もありました。これまでと一番違うなと思ったのは、ページの右端に年表が全部印刷されていて、自分が読んでいるページが、どの時代なのかということが示されています。読んでいて、その時代に飛んでいける感じでいいなと思いました。

委員 私も帝国書院を選びました。「沖縄戦」をクローズアップしたページが載せられているからです。また、「石垣島の養老式典」や「宮古島の人頭税」の写真が使われています。本文の記述を補足する資料と写真が豊富に掲載されています。理解しづらい用語に対しても、視覚的に表して、理解が深まるように工夫されている点で選びました。

委員 私も帝国書院を選びました。見開きページで構成されており、学習課題がとても明確で授業の流れが分かりやすいと思いました。また、言語活動につながる工夫があると思いました。他社と比べると明るい印刷だなあと感じました。「琉球」と「アイヌ」の生活もとても分かりやすく示しているのもいいなあと感じました。「石垣島の養老式典」については、帝国書院を見て初めて知りました。

議長 中学校歴史的分野は帝国書院で全会一致です。帝国書院を選定いたします。
続いて、公民的分野の選定に入ります。

⑤中学校「社会（公民的分野）」

委員 新聞で色々話題になっていたもので、徹底して読みました。気になるところを一生懸命探しましたが、結論として育鵬社がいいなと思いました。現在使用している教科書であるということと、社会的事象を自分事として捉える教材を各所にバランスよく配置しています。「やってみよう」というコーナーでは、社会問題を自分事として主体的に考えることができるような配慮がしっかりされています。

それ以外で、特に慎重に比較検討した項目は、「領土の問題」、「平和主義」、「憲法第9条」と「自衛隊」です。巻末に関係法令もありますが、憲法第9条を扱うページには、イタリア、ドイツ、大韓民国等々の関連憲法条文が掲載されており、世界の中での日本という視点を意識した教科書になっています。紙面の配置もいいなと思いました。

「象徴としての天皇」についての記載は、各社で差が出ました。育鵬社は、その象徴としての天皇を、中学生にふさわしい表現で記載していました。

「どうして経済を学ぶのか」等、学習するにあたって見通しを持って学びができるようにしっかりと配慮されていると思いました。結論は、育鵬社がいいなあと感じました。

委員 公民的分野を見比べてみたんですが、私は、育鵬社と日本文教出版の二つで悩みました。最終的には育鵬社を推したいと思います。

見開き 1 ページが 1 単位時間になっており、授業の進み方が意識できるようになっているおかげで、授業の展開が明確になり子供たちも学習しやすいのではないかと思います。そして、写真や資料のグラフ、イラストが分かりやすく配置されています。2 点目に、グローバルな視点から日本と国際社会を捉え、日本と国際社会の関係を学ぶことができること。3 点目に現代的、現実的な課題である「領土問題」や「憲法」、「自衛隊」、「国防」、「沖縄と基地の問題」がしっかり扱われていること。4 点目は、SDG'S や Society5.0 の内容が盛り込まれている点。以上の点から育鵬社を推薦します。

委員 私も育鵬社を推したいと思います。最初と最後のページに「持続可能な開発目標 SDG'S」が掲げられていて、中学生でも社会の一員として積極的に取り組まなければならないことが明確に示されています。3 ページには「なぜ公民を学ぶのか」ということで、地理、歴史、公民の概念図や、公民についての説明があり、とても理解しやすいです。生徒達が学習に入りやすいのではないかと思います。

各題材ごとに、「学習を深めよう」が 42 もあり、題材に関連したテーマで学ぶことができます。また、人物の紹介があり、人物を読み取りながら更に深く学習ができる良いコーナーもありました。各章の終わりにも、「まとめ」として重要語句の確認があり、学んできた重要語句を復習しながら学習を進めることができます。全体で国家を尊重する国際感覚、郷土の伝統文化や産業などへの理解が深められる内容となっています。様々なテーマが扱われており、生徒が公民を学習するのに良い本だと思います。

委員 私は東書を推薦します。離島の学校で主要 5 教科の教員がそろうということはほとんどありません。主要 5 教科の中で社会科の教員が欠けるということは結構あり、免許外の先生が社会を教えることがよくあります。生徒が読みやすい、先生が指導しやすい、子供の自学に適しているという点を考えた時に、東書がいいのではないかと思います。

委員 私も東書を選びました。見やすさ、使いやすさ、平和についての部分が充実していて、子供達にはいいかなと思いました。副教材も多く、資料も豊富です。本文を見分けるための色分けで文章が明確化されていたり、「みんなでチャレンジ」が設定されていることで対話的活動を通して多様な意見に触れられるように作られています。価値判断や意見の決定場面が多く得られるように配慮されている点もあり、東京書籍を選びました。

委員 私は帝国書院を選びました。章の導入の部分にイラストがあつて、これから学習する内容をイメージさせるようになっていきます。新鮮だなと感じました。発問の豊かさもあります。学習課題を「問いかけ」で語っているんですが、具体的に分かりやすいと感じました。あと、尖閣諸島の領土のところに、鯉節工場を掲載してるのも良いなと感じましたが、領土の問題の地図に与那国島が記されていないのは良くないなと感じました。

育鵬社もとてもいいなと感じました。南シナ海のスプラトリー諸島など、写真や情報が

非常に詳しいな思いましたが、情報量が中学生に多いのではと懸念しました。基礎基本事項を一番コンパクトにまとめているのが帝国書院だと感じました。

委員 私も帝国と育鵬社で悩みましたが、育鵬社を選びました。全体的にバランスよくまとめられていていいなと感じました。巻末の法令集にも重要な単語が記載され、活用しやすいと感じました。

議長 東書2人、帝国1人、育鵬社4人になっています。
各教科書の良いところや領土問題等について、地元に関わる教材の記載等があげられています。それでは、協議を進めます。さらに追加したい意見はありませんか。

委員 東京書籍と育鵬社を比べたことについて2点追加します。育鵬社の方が東京書籍より文字が読みやすいです。育鵬社の方が、サービスや経済についての説明が丁寧で、非常に分かりやすかったです。

委員 公民は特に慎重に比べてみたんですが、東書や他の教科書と比べたときに、育鵬社が国際比較にページをさき、詳しく載っています。国際比較が他の教科書はあまりなされていないです。事実を事実として、子供たちが学ぶべきではないかと思います。

委員 育鵬社の教科書はとても事実的だと感じます。伝えたい内容がたくさんあり、子供たちにここまで伝えていいのかなあという躊躇もありますが、歴史的事実がとても丁寧に書かれていると思います。

議長 子供たちが主体的な深い学びを、自分事として学んでいくことがしっかりできる教材が提示されている教科書を選定する必要があります。
他にご意見がなければ投票ということになりますが、ありますか。

議長 それでは協議の中では全会一致にならなかったため投票を行います。事務局から投票シートについて説明があります。

事務局 選定したい種目を選んでいただきます。
過半数を超えたら決定ですが、過半数をえるものがない場合は、得票数の上位2つに絞って2回目の投票を行います。まずは、第1回目の投票をお願いします。

投票

事務局 育鵬社6人、東京書籍1人です。

議長 投票の結果、育鵬社6人、東京書籍1人。よって過半数を上回っておりますので、社会科学的分野の教科書は、育鵬社を選定してよろしいでしょうか。

委員

はい。

議長

では、公民的分野の教科書は、育鵬社を選定します。
続いて、地図の協議を行います。

⑥中学校「社会（地図）」

委員

私は帝国書院を選びました。A4 サイズの見開きで、地図が読み取り安く、活用しやすいです。「地図の活用について」の記載があり、社会的な見方・考え方を活かした学習に活用できます。自然の統計資料、世界の統計資料が豊富に掲載されています。そして、東書と違っている点が、国土地理院の地形図が扱われていることです。縮尺等の説明が明確にされていました。以上のことで、帝国書院を選びました。

委員

私は帝国書院を選びました。

思春期の中学生のころ、私は小さな石垣島で過ごしながら世界は広いのになど悩みを持ちつつ育ちました。この地図では、「我々の小さな八重山から、日本、アジア、世界へと導いてくれる」、「自分の存在を示してくれる」という感じがしました。内容も、様々な統計資料が豊富に掲載されており、とてもいいと思います。日本の全地方を網羅していて、特に鳥瞰図が綺麗です。世界各国の地域が手にとってわかるような図もあります。

各地方の特色を具体的に読み取ることができ、理解しやすいです。地図の紙面がとても大きくて、世界の町が目飛び込んでくるような地図であると思います。ここ八重山から、生徒が世界に羽ばたける、そんな気持ちにしてくれる教科書だと思います。

委員

帝国を推薦します。大判サイズで大変見やすく、使いやすいです。資料、図が充実しています。日本の西端ということで、187 ページにしっかりと「久部良の西崎」が写っていました。

また、昔から地図でみると、与那国が一番左側にあるので、下とか上とか言っていました。この地図帳を見ていたら、北から南まで、北海道から与那国島まで空間的に覚えてもらえるのでいいと思いました。

委員

私も帝国書院を選びました。小学校で使われている地図帳も帝国です。子ども達も、前に見たことがある感じでいいと思います。大きさが A4 サイズで見やすいです。全てふりがなが書かれていて、誤読が防げます。地名は読み方が違うこともたくさんあるので、誤読が防げることはとてもいいなと思いました。

鳥瞰図や修学旅行に活用されるような資料が掲載され、主体的に活用できる構成になっています。沖縄を中心としたアジア各国の距離があり、アジアや日本との空間的な位置関係を分かりやすく示す工夫がなされている点で、帝国を選びました。

委員

私も帝国書院を推薦します。A4 の縦版で、他の教科書との区別がつきやすいです。子午線が明瞭に印刷されています。日付変更線等の線もとてもはっきりしていて、レイアウトがとても丁寧だなあという印象です。「地図活動」という項目で、地図を深く読むための「読図」の掲載もあり、帝国を推薦します。

委員

私は帝国書院がいいと思いました。色合いが落ち着いていて見やすいなと思いました。また、鳥瞰図が充実していましたのでイメージがしやすいのかなと思います。

委員

私も帝国を選択しました。全沖縄の地図は、帝国の方が詳しく分かりやすく、空間的な

位置関係も把握しやすいです。東アジアと日本の交流の歴史、大陸から見た日本の視点が提示されています。帝国では、「地図活用」のコーナーが有り、主体的な学び、発展的な学習につなげる工夫となっています。それから、統計資料など、地図を開けば欲しい資料があるということがいいです。様々な視点で使いやすいということで帝国を推薦します。

議長 社会地図は、全会一致で帝国書院を選定してよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 それでは、地図帳分野の教科書は、帝国書院に選定します。
ここで休憩いたします。

休 憩

議長 それでは、午後の部を始めます。
まず、数学からです。

⑦中学校「数学」

委員 私は東京書籍を推薦します。QR コードがついていて、インターネット等で学習ができる図書です。また、各学年に「深い学びを振り返ろう」、「思考力表現力を高めよう」、「伝える力を身につけよう」、「基本を身につけよう」とあり、数学に対する見方・考え方、課題に取り組む力などが高められると思います。

全ページカラーで、ユニバーサルデザインに対応しています。小さな文字はUDフォントで、読み書きが苦手な生徒にも効果的な書体文字を使っており、優しい図書だと思います。学びを振り返る活動や、友達とのつながりを通して数学の良さを実感できるようになっています。

委員 私は数研を薦めます。学校現場で、一番学力の低いのが算数・数学です。ますます下がってきていて、最近のデータは惨憺たるものです。なぜ、算数・数学が伸び悩んでいるのかを考えたときに、教科書に問題があるのではないかと思っていたんです。この教科書を見たときに、非常に分かりやすく、「こういうことを教えて欲しかった」ということがキャラクターの発言でよく出てくるんです。「こういうやり方もあるよ」とか、普通は先生が教えてくれるような内容を細かくキャラクターが言ってくれます。家に帰って復習する時に、先生がいなくても自分で勉強できるような教科書になっていると思います。

デジタルコンテンツについては大差はないと思います。ですが、実際、家に帰って復習しようとした時に、数研の教科書を見て意味が分からないということはないと思います。また、先生と生徒の対話の場面が工夫されており、さらに深い学びができるように配慮されています。これまでになかったようなタイプで、自学しやすい教科書だと思いますので、この教科書推薦します。

委員 私は東書を選びました。理由は、まず知識の伝達のみ偏っておらず、数学的な見方・考え方を身につけるよう、学習内容が工夫されています。

1年では算数の振り返り、2年では1年の振り返り、3年では1・2年の振り返りなど、前年度の内容を復習する問題が巻末にあり、基礎・基本の知識を身に付けさせるために有効ではないかと思いました。それから、写真やカラーページ、様々な図表が豊富であるということ、系統性があり問題の内容が高校での学習につながるよう設定されているということから選びました。

委員 私も同じく東京書籍を推薦します。日常生活のあらゆる場面で、数学の力で解決しようという視点の与え方と導き方が、他社より分かりやすいなと思いました。数学的発想の表紙、色合いや教科書の作りが素敵だなと思います。生徒の目線の言葉の語りかけが随所にあって、数学の学習を通して人間的な形成を目指していることが感じられます。巻頭の語りやイラストは、自主学习する場合に役立ちます。この教科書が1番良いと感じます。

委員 東京書籍がいいと思いました。深い学びのコーナー等で、身近な普段の生活環境から、数多くの課題が提示されています。生徒が数学に対して興味を持てるような工夫がされているのかなと感じます。

委員 私も東書を選択しました。どの教科書も興味関心を掻き立てられ、数学の世界に引き込まれるような素晴らしい工夫がありました。大差なしかなと思いましたが、数学的にどうかと思った時に、東京書籍と学校図書の二つの比較となりました。

細かいところを比較し、東書の方がいいなあと思いました。例えば累乗の表し方では、東京書籍にはふりがながふられています、学校図書にふられていません。重要箇所の色使いや掲示の仕方が、東京書籍の方がメリハリがあり、中学生には扱いやすいのではないかなと判断しました。

自分が数学を学ぶ時に、どの教科書が使いやすいかと考えたときに、東京書籍であれば、数学が苦手な生徒も好きになるのかなと思いました。

委員 私は大日本図書を推薦します。主に導入の「問題を考えよう」、「めあて」、「調べたり考えたりする活動」、「問題の解き方の例題」、「例題等で学習したことを確かめる問題」、そして「定着のための Q1、Q2」、「補充問題とプラスワン」。ステップバイステップで学習できるよう、学習過程が明確に示され、主体的に学習に取り組みやすいと思いました。

もう1点、他人に考えを伝える問題があり、対話的な学びにつながると思います。身近な問題から学習課題が設定されています。以上のことから大日本図書を推薦します。

議長 東書5人、大日本1人、数研1人です。身近な題材や既習事項の生活への活用等の題材があり、生徒が扱いやすいとのご意見がありました。さらに付け加えることはありますか。

委員 先生方も一生懸命に取り組んでいますが、なぜこんなに算数・数学の学力が低いのか。

理由は、自分で学習できないからではないでしょうか。数研の教科書は、家でも学べる図書だと思います。子供が知りたい、分かってほしいことを、「そうか」と納得する教科書です。本当に、算数・数学は低いです。計算している時に、間違っただけを消さずに残すという指導がありますが、きちんと整理して書いてあればすぐに分かるものの、ゴチャゴチャ書いていたらどこで間違っただけを調べるのに時間がかかります。授業中に指導されているかもしれませんが、そんなにはしていないと思います。この教科書には、生徒にやって欲しいことが書かれています。先生が言うよりも子ども達に伝わるんじゃないかと思います。

議長 3つの教科書に分かれています。協議では全会一致は難しいので、投票でよろしいでしょうか。

委員 はい。

投票

事務局 東京書籍5人、数研出版1人、大日本図書1人です。

議長 投票の結果、東京書籍5人、数研出版1人、大日本図書1人で、東京書籍が過半数の得票を得ました。数学は、東京書籍を選定いたします。
続いて、理科の選定について協議します。

⑧中学校「理科」

委員 私は東書を推薦します。理由は、一節一節が、1時間の授業と設定されているので大変見やすいです。生徒が学習する上での「安心・安全」への配慮もあり、「実験の前」、「実験中」、「実験後」のそれぞれの場面で安全チェックができるようになっています。観察・実験の方法の示し方が分かりやすいです。実験の考察も考える場合も、考えるステップを細かくし、段階的に進められるような工夫があります。デジタルコンテンツの充実については、他の教科書も同様に素晴らしいと思います。デジタルコンテンツは、これからの時代の教科書に必要になってくると思います。

委員 私も東書を推薦します。各領域ごとに、生徒の発達段階に応じた教材が系統的に配置されています。ヤンバルクイナ、マングース、サンゴ、イソギンチャク、石垣島天文台などの沖縄関連事項があります。誰もが使いやすい見開きで構成されており、生徒の学習への見通しや安全対策が意識されています。探求活動に取り組むとき、どのステップにいるのかが分かります。分かりやすく工夫されたイラストや写真などが随所に配置され、生徒の興味関心を高めるようになっているので、学習への理解も深まると予想されます。

委員 私も東書を推薦します。教科書の文字の大きさ、文字の使い方、図説の配置、ページレイアウトがとても見やすいと思いました。科学の本棚という項目が設けられていて、その単元に関する本が紹介されています。理科から読書活動につながるとともに、理科の世界観も広がるなあと思いました。他の教科書は「探求とは何か」ということから始まってい

ます。しかし、東書の場合は、生徒のイラストで「つぶやきや問いかけ」を使って「理科の学び」、「探求」へとつなげ、とても分かりやすいなと思いました。ペーパークラフトで世界の活火山の震源分布を見せる方法も新鮮だなと思いました。

委員 私も東京書籍さんがいいと思いました。生徒が興味を持つような「身近な疑問や問題」等をテーマに設定し、内容も充実しています。レイアウトも分かりやすく、生徒が意欲的に取り組めるような工夫を感じました。

委員 私も東京書籍を選びました。巻頭の理科室の決まりが詳しくて、安心感があります。繰り返し学習をすることができる点ですが、全教科書比べてみた場合、東京書籍の方が充実していました。例えば、「まとめ」や「結論」を自分で表現させるようになっています。「解答」が後ろの章末あったり、章末に「単元のまとめ」がおかれていることで、生徒が自主的・主体的に学ぶ構成になっているのが東書の優れているところだと思います。教育出版の「ハロー・サイエンス」、「チャレンジ・コーナー」も素晴らしいのですが、総合的に判断すると、東京書籍がより良いと判断しました。

委員 私も東書を推薦します。東書と学図で迷いました。会社によって教科書のサイズがまちまちです。東書は A4 版で、学図は普通の教科書サイズなので、生徒の扱いや持ち運び等が気になりました。中身を見ると、東書は導入から学習の過程が明確でした。使いやすいただろうと思いました。実験・観察ではイラストや写真があり、見やすかったです。実験・観察を重視した作りになっています。巻末の資料には、「理科室の決まり」、「薬品の扱い方等の基礎・基本」、「実験器具の扱い方」が載せられていたので、東京書籍を選びました。

委員 私も東京書籍を推薦します。教科書の中に「地球と宇宙」という単元があり、その最初のページに石垣島天文台と天の川の写真が飾ってあります。星空を石垣の観光産業にしようという動きがあります。生徒達が、星について学ぶ機会があると思いき嬉しく思います。統計、挿し絵、写真、図表等が鮮明です。写真、イラスト等もふんだんに使用され、学習意欲を高める工夫があると思います。学習内容の活用例や参考例として、生徒が興味を持つような身近な例が多く、既習事項を活かして探求ができる教科書だと思います。

議長 理科については、全委員が東京書籍を推薦していますので、東京書籍を全会一致で選定いたします。
続いて、音楽一般を協議します。

⑨中学校「音楽（一般）」

委員 見やすさや沖縄の音楽がどれくらい入ってるかという面から選びました。教芸を選びました。小学校で採用されている教科書なので、系統立てて指導ができます。キャラクターの吹き出しで発問しながら、学習活動を導くように工夫されており、子供たちも飛びつくのではないかなと思います。

沖縄の「谷茶前節」や、「組踊」と「能・歌舞伎」との比較もあります。「谷茶前節」の三線工工四の掲載もあるので教芸を選びました。

委員 私は教芸を推薦します。表紙、裏表紙の装丁は、生徒達が親しみやすいものではないかと感じました。本文に入る前の、「ピアノで語る」、「音楽って何だろう」、「楽器と人」という内容が、学習前の意欲喚起に繋がると感じました。教芸を推薦します。

委員 私も同じように教芸がいいと思います。目標と内容が精選されています。ねらいが分かりやすく表記されているので、効果的な学習ができると思います。工工四の記載もあって、沖縄に興味を持てるような工夫もいいなと思いました。

委員 教芸を選択しました。教育出版と教育芸術で、「発展的な内容として適切であるか」、「表記や表現が適切であるか」の2点を比較してみました。発展的な内容としては、教芸は、「レッツ・クリエイト」で「創作」や「話し合い活動」、「深めよう」と、音楽の授業で生徒が多面的・多角的に考え、表現できる内容がありました。十分満足できると判断しました。

一方、教育出版は、「メッセージ・フォー・ユー」のコーナー、「レッツ・トライ」等の工夫がありますが、教芸の方が充実していると判断しました。

表記や表現が適切であるかという点では、教育出版には明確に「発展」の表示がありますが、教育芸術にはその表記がありません。しかし、内容としては、生徒の興味関心、意欲を高めるような「社会を映し出す音楽」、「ポピュラー音楽」等、社会生活と音楽との関わりが、教芸には明確に示されています。発展的な学習につながる構成です。

楽曲の内容を見ても、「大地讃頌」や「レット・イット・ビー」などが取り上げられています。観賞では「組踊」が扱われているので教芸にしました。

委員 教芸を選びました。それぞれの教材で、音楽の学習内容である「歌唱」、「創作」、「表現や鑑賞」等、今日の学習は何が中心かが明記されています。イラストや写真、図等を用いた親しみやすい説明が適切で、学習内容が理解しやすいです。沖縄関連では、「谷茶前」や「涙そうそう」が教材として扱われています。本市の中学校卒業式で、卒業生に親しまれている「大地讃頌」、「ふるさと」が教材として扱われているということもいいです。著作権について詳しく記載されているという調査員の意見は、重視するべきだと感じました。

委員 私も教育芸術社を推薦します。学習内容を「歌唱」、「創作」、「観賞」として、音楽の授業の要素が分かります。また、音楽の授業の約束が、全学年とも設定されています。繰り返し学習ができるようにも工夫されています。そして、それぞれの作品・曲について、作者からのメッセージがあり、生徒には良いアドバイスとなると思います。

沖縄関連については、「涙そうそう」と「谷茶前」、三線、そして沖縄伝統芸能の「組踊」の紹介があることも嬉しいことです。教芸と教育出版、共に日本と西洋の音楽の歩みの年表がありますが、教育芸術の方が分かりやすかったです。

生徒に親しみやすい表現と適切な説明が用いられていて、学習内容が理解しやすいものとなっているように思います。

委員 教芸を推薦します。「音楽って何だろう」に、「世界に様々な音楽が存在するのはなぜか」という問いかけがあります。それを考えることで、幅広い価値観を養うことができると思います。教出の方も、音楽を愛好する心情を育てるとあります。日本の自然、四季、文化等、日本の美しさを伝えるということはいいなと思ったんですが、これからの長い人生の中で、幅広い価値観を養うことができるという点で教芸を選びました。

議長 全会一致で教育芸術社を推薦しています。音楽一般については教芸を選定いたします。続いて、音楽器楽合奏の協議に入ります。

⑩中学校「音楽（器楽合奏）」

委員 私は両社ともいいなと思ったんですが、教芸を推薦します。音楽のジャンル「日本編」、「海外編」や、音楽メディアの変遷、耳で聞く音楽史など、多面的に音楽の学びに触れられると思いました。発展的な学習につながりやすい内容がたくさんあるなと感じました

教出さんも、基礎的な内容を抑えているんですが、小学校との兼ね合いを考えて教育芸術社を推薦したいと思います。

委員 私は教芸がいいと思いました。楽器の解説が分かりやすく記述されていて、音楽に興味を持てるように工夫されていると思います。また打楽器の演奏方法も詳しく掲載されているのでいいなと思いました。

委員 私も教育芸術を推薦します。私の観点別評価では、教芸の方が高かったです。具体的に1点あげると、ギターのパージで、教出にある演奏コードはもう少し充実させてほしいのですが、教育芸術の演奏コードは充実しています。ギターの種類についても詳しく説明されています。総じて教育芸術の方が詳しく分かりやすく、学びやすいなと感じます。

委員 私も教芸を選びました。一般の教科書と関連して学習しやすいだろうと思いました。楽器の演奏方法をイラストや写真で詳しく解説し、適切で分かりやすいです。「美しい音は良い姿勢から」や「音を合わせるときのコツ」等、コラムの内容が適切でした。

委員 教育芸術社を推薦します。各楽器の特性や演奏方法を、写真や挿し絵を用いて説明しています。全体的に分かりやすい解説です。各題材において、目標とする学習内容と情報が明確に示されています。興味・関心を持ち、主体的に学習できるように工夫されています。

委員 教芸を推薦します。楽器の演奏方法の説明がイラストを活用し分かりやすいという点と、学習を繰り返してできる工夫があります。生涯にわたって、音楽文化に親しむ態度が育まれるのではないかと考え教芸を推薦します。

委員 私も教芸を選びました。「学びのねらい」でスタートとし、「まとめ」で授業が終わります。見開きで学習が見通せます。小学校の教科書に出ている鑑賞教材もあり、小学校の学

習を発展的な演奏につなげる工夫があります。

沖縄の楽器の三線が取り入れられており、代表的な「谷茶前節」や八重山の「月ぬ美しや」が掲載されているという点からも教芸を選びました。

議長 委員の皆さん全員が、教育芸術社を推薦したので、全会一致で音楽器楽合奏は教育芸術社を選定いたします。

次は美術です。

⑪中学校「美術」

委員 美術は日文がいいと思いました。各作品を、それぞれの特徴に合わせて、見開きや大きさを変えてバランスよく配置しており、工夫があると感じました。

委員 日文を選択しました。他社と比べながら観点別に点数をつけたところ最高得点でした。開隆堂の「学習の目標」、「学習のポイント」、「作者の言葉」、「美術の用語」なども良かったと思います。しかし、日文の「発想・構想の手立て」や「わくわくコミュニケーション」、デザインや陶芸等、とても良いと思ったので、総合的に日文を選びました。

沖縄県八重山関連事項については、3社ともそれぞれ、紅型や首里城、焼き物等々、大差はないと判断しました。

委員 私も日文を選びました。学習目標が「学びの目標」としてしっかり明記されており、主体的な学習につながるのではないかと思います。それから、単元のタイトルが、生徒の興味関心を高めるような表現になっています。例えば、「見つめると見えてくるもの」のように、生徒の興味を引くようなタイトルになっています。

委員 日本文教出版を推薦します。2年生、3年生の上下別冊になっています。それぞれのテーマが「学びの時間と広がり」と「学びの探究と未来」と設定され、学びが深まるのではないかと感じました。QRコードも掲載されています。題材ごとに「学びの目標」が明確に示されており、学びが広がるような工夫がされていると思います。挿し絵や写真も多くて、鮮明で学習に取り組みやすいと思いました。

委員 日文を推します。見ていると非常にワクワクし、生徒が自ら学びたくなるように感じます。そのことが、生徒の深い学びにつながっていくと思います。また、生徒がやってみたいという気持ちを引き出すようなヒントも満載です。

離島の学校では、美術専門の先生が配置されていない場合が多く、免許外の先生が美術を教えることが多いです。そういう先生方にも、教えやすい教科書になっていると思います。

委員 私も日文を選びました。指導要領の内容を踏まえて作成されています。3カ年を通して語りかけ、美術との出会いに気付き、知ることができます。生徒の作品がふんだんに使用され、生徒が活動する姿もたくさん掲載されています。美術と自分自身や、美術と普段の

生活との関わりが感じられ、制作意欲につながるだろうと思いました。

委員 私も同じく日文を推薦します。中学生に興味関心を沸き立たせる内容がつまっている印象を受けました。中学 1 年生の教材の初めに、アニメーションを取り上げているのも斬新だなと思いました。中学生が作品に取り組む写真や、中学生の作品が多数掲載されています。生徒自身に「自分達にもできるよ」とか「やってみよう」という気持ちにさせるのではないかなあと感じました。日常の身近な題材を取り上げ、美術という視点につなげることで、苦手な子も美術の学習に抵抗なく入って行けそうだなあとというのが推薦の理由です。

議長 7 人の全委員が、日本文教出版を推薦しましたので、日本文教出版を選定します。よろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 次は保健体育の協議です。お願いします。

⑫中学校「保健体育」

委員 学研を選択しました。特に比較したのが、「章のまとめ」、「特設コーナー」、巻末・巻頭資料です。学習者にとっての学びやすさという視点でしたが、具体的に読み込んだのが「生殖機能の成熟」と「自画撮り被害について」の思春期にまつわるテーマです。学研のまとめは、「ふりかえろう」、「確かめよう」、「生かそう」となっていて、「生活活用コーナー」や「コラム」の充実が顕著でした。「生殖機能や成熟」、「自画撮り被害」についての記述や説明内容は、4 教科書中、最も中学生に適していて共感しました。

委員 私も学研を選びました。1 時間の学習の流れが見開き 1 ページで、「学習の目標」、「課題をつかむ」、「考える」、「調べる」、「まとめる」、「深める」という流れで構成されていました。生徒が見通しを持って学習できると思います。関連する内容の写真やイラスト等が豊富に掲載してあることから、課題が身近なものとして受け止められる配慮があります。ロボットのウィズ君の問いかけが適切に設定されていて、学びを確かなものにする効果があると思いました。

委員 私は学研を推薦したいと思います。各題材に「学習の目標」、「課題をつかむ」、「考える」、「調べる」、「まとめる」、「深める」があり、生徒が深く考え、学習内容が身につく仕組みになっていると思います。

また、「取得コーナー」では、現在活躍しているスポーツ関係者から「最前線を知る」、先達の方から「過去を学ぶ」があり、スポーツ界での実績等の紹介があるのもいいところだと思います。挿し絵、写真、グラフ、表などが用いられ、生徒には分かりやすくなっていると思います。資料は最新の信頼性のあるものが取り上げられていると思います。

委員 学研を推します。学習したことが日常生活に具体的にどう結びつくかと考えた時に、随

所に実習を取り入れられて、実践的にできるような工夫があることが理由です。

委員 私も学研を選びました。副読本・副教材が、沖縄県版の保健ノートと実技ノートにリンクしています。各章の「学習のまとめ」では、QR コードで振り返ることができ、自己評価することができるという点から選びました。

委員 同じく学研を選びました。教材冒頭の「課題を掴む」という内容が実践的で、学習課題や健康課題に気付く導入となっていると思いました。「まとめる」、「深める」の内容もいいなあと思います。あと、思春期の項目は、4 社の中で中学生への説明が最も適切であると思いました。1 年生には文字が小さいように感じたのですが、沖縄県版の副読本もあるようなので、学研さんを推薦します。

委員 私も学研がいいと思いました。各単元最初に、「学習の目標」が設定されているので、生徒が主体的に学習できるように工夫されていると思います。イラスト等が効果的に配置されていて見やすく感じました。

議長 委員全員が学研を推薦しましたので、学研を選定してもよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 では、技術家庭技術分野を協議します。

⑬中学校「技術・家庭（技術分野）」

委員 私は東書を選びました。理由としては、「学習の目標」、「活動の中で考えてみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「まとめ」と、学習過程が明確だからです。生徒が見通しを持って学習ができるような構成になっています。そして、自己評価が毎時間設定されていて、形成的評価が適切に行われると思います。イラストや写真、表が鮮明で分かりやすいです。技術科の基礎基本が確実に習得されるように工夫されています。さらに、免許外の教員が活用しやすい教科書であるという調査員の意見は、地域の特性から考えて重視すべきだと思ったので東書を選定しました。。

委員 東京書籍を推薦します。生徒が主体的に問題解決に取り組めるように、多くの解決例を挙げながら身近な問題を取り上げています。そして、「技術の匠」として、各専門技術者からアドバイスがあることも良い学びになると考えます。

ユニバーサルデザインが採用されています。最後に「学習のまとめ」があり、学習を振り返りながら、生活に生かせるようになっています。東京書籍を推薦したいと思います。

委員 東京書籍を推薦します。免許外の先生でも使いやすいと思います。離島では、ほとんど免許外の先生が指導し、大変苦勞しています。ですから、免許外の先生でも使いやすいという点から選びました。

委員 私も東京書籍です。現場の先生方から言われたんですが、離島ではほとんどの技能教科書を免許外の先生で指導しているのが現状です。初めて指導するとか、自分の専門性ではない教科を指導するということになると、教師が扱いやすい教科書がいいと思います。東京書籍を推薦します。

委員 私も東京書籍を選びました。「なぜ技術を学習するのか」という教科の目的が、一番伝わりやすく作られていると感じました。材料を使ってただ加工したり物を作るだけではなく、環境に応じて最適化を図るという導き方が、とてもいいなと思いました。

委員 私も東書がいいと思いました。全体的な構成が分かりやすく、スムーズに学習ができると思います。免許外の先生でも使いやすく教えやすい教科書になっているので、東京書籍を推薦します。

委員 私も東京書籍を選びました。例えば、「木材の特性」をじっくり読むと、全くの素人の私でも確実に分かり、知識となる説明があります。図示にしても、説明文にしても、分かりやすく丁寧です。「まとめよう」の部分では、「友達に説明してみましよう」という対話的な学びにつながるような工夫があります。「活動」というコーナーでは、「情報モラル＋アルファ」として発展的な内容があったりと、様々な工夫があちらこちらにあって学びやすい教科書だなと思いました。

議長 技術家庭技術分野では、7名の委員全員が東京書籍を選びましたので、東京書籍を全会一致で選定いたします。

次は、技術家庭科家庭分野です。

⑭中学校「技術・家庭（家庭分野）」

委員 東京書籍を推薦します。「目標」や「自己表現」の欄が設けてあり、見通しを持って学習を進めることができるようになっています。また、活動が多く取り上げられています。資料等は、学習内容を広げたり、深めたりすることができるようになっていると思います。明るい写真やイラストで説明されており、丁寧な教科書だと思います。

委員 東書を推薦します。理由は、やはり免許外の先生方が教えやすい教科書だからです。それが一番大きな理由です。

委員 私も東書を推薦します。以前、免許外の先生が家庭科を担当していて、「ミシンを使ったことがない」、「触ったことがない」ということで、中学校にお手伝いしに行ったことがあります。そういう面から、動画が多くて、生徒が自学できるような教科書がいいかなあと思いました。それから、沖縄県の野菜や郷土料理の紹介が写真付きであります。また、沖縄の住居として、瓦屋根、石垣などが紹介されているという点からも選びました。

委員 私も東京書籍を選びました。免許外の先生が教えやすいものが多いと思います。デジタルコンテンツの中に、「浴衣の着方」や「高齢者の介護の方法」等も含まれていました。実際になかなか教えられないものも、デジタルコンテンツで見やすく分かりやすいと思いました。「個食」と「共食」という現代の課題を取り入れているのもいいなと思いました。

委員 私も東書がいいと思いました。「目標」、「指導」、「まとめ」が記載されているので、何をすべきかが明確で分かりやすいと思います。また、内容もとても充実していて分かりやすいと思いました。ただ、右下にパラパラ漫画があつて気になりました。

委員 私も東書を選択しました。得点差はほとんどないのですが、東京書籍を最終的に選定したのは、「プロに聞く」というコーナーがすごく良かったからです。活動において、グループで対話的に進める良さなどもポイントになりました。

沖縄県、八重山関連事項に関する記載が3社とも、ゴーヤチャンプル、瓦屋根等々ありました。ただ、適切な表現をしているのは東書だと思いました。東書は「風被害を防ぐ石垣と樹木」とありますが、教育図書には「石塀」とあります。写真は竹富島の写真です。開隆堂は同じ瓦屋根でも、那覇市のものを取り扱っていました。細かいのですが、細かいものを比べたときに適切なのは東書だと判断しました。

委員 私も東書を選びました。理由としては、技術分野と同じで、学習過程が明確であるということです。写真やイラスト等の資料が充実していて、生徒が学びやすいのではないかと思います。そして、先ほど申し上げたとおり、免許外の先生が活用しやすいという点を重視すべきだと考えます。

議長 技術・家庭家庭分野では、7名の委員全員が東京書籍を選びましたので、東京書籍を全会一致で選定したいと思います。

続いて外国語英語です。お願いします。

⑮中学校「外国語（英語）」

委員 私は光村を推します。

私は、中学校、高校、大学と英語を学んできましたが、内容はほとんど覚えていません。しかし、高校時代で覚えていることがあります。ストーリーでつながっていた物語です。自分自身の経験から、子供達はストーリーで物語が進んでいくと覚えやすいのではないかと思います。光村はストーリーで構成されています。授業も楽しくなるのではないかと考えます。たくさん教科書はありますが、それほど差はないと思います。ただ、ストーリー性というところで、光村を選びました。

委員 英語の教科書は高校卒業して以来、久しぶりに見ました。

開隆堂はユニバーサルデザインが使われていて、発達段階に応じた資料やQRコードがついていて生徒の学習をサポートできると思います。首里城の写真や沖縄が答えになるり

スニング問題等もありました。各単元で、日常生活の場面を漫画で描き、対話で新出表現を取り扱っていました。「パワー・アップ」として、会話場面で実生活に結びつくように配慮されているので、開隆堂を選びました。

委員 私も開隆堂を選びました。「辞書の使い方」を教科書の初めに掲載しているのはいいなと思いました。あと、実践的な内容が、他社より多いと感じました。イラストで場面を描いて、吹き出しにセリフがあります。会話練習の際に、会話場面のイメージを掴みながら練習するのにとてもいいなと感じました。会話をやり取りする構成が、他社より分かりやすく、たくさんある印象を受けました。巻末に「アクション・カード」がありました。小学校で学んだ内容が整理でき、新学習指導要領で新たに設定されたプログラムがしっかり盛り込まれているという点も評価します。

委員 私も開隆堂がいいと思いました。各章のページで具体的に目標が書かれているので、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっていると思います。イラスト等の配置もよく、とても見やすく感じました。

委員 三省堂を選択しました。4 技能 5 領域の活用や評価観点を網羅して比べてみました。特に注目したのが、小学校の学びをどのように中学校につなげるかという点でした。三省堂の「クラスルーム・イングリッシュ」というのが、6 社の教科書中一番多くて 32 フレーズ用意されていました。中学校英語への導入である「スターター」が、他社の「ゲット・ウェイ」や「プログラム 0」と比較すると、三省堂の「スターター」が充実した学習活動が可能だと思えます。僅差ですが、三省堂を選択しました。

委員 私は開隆堂を選びました。開隆堂は、「アワ・プロジェクト」が 1 年から 3 年まで通し番号で系統的に構成されていました。各プログラムの目標や新しい表現の学習等、学習過程が明確になっていて、生徒が学習しやすいと感じました。学習で取り組む題材が、学年の行事に関連しているのもいいと感じます。2 年生では修学旅行がありますが、教科書には「夢のある旅行を企画をしよう」という単元がありました。また、職場体験の単元もあり、学年の行事と関連していると感じました。

道徳教育や人権教育に配慮した題材もあり、杉浦さんやエルトゥール号も扱われていました。とてもいいなあと感じます。

委員 私は開隆堂を推薦します。開隆堂さんの方が、「首里城」や沖縄に関する写真が掲載されています。各学年ごとの学習到達目標が具体的に示されており、3 年間でバランスよく SDGs に対応した題材が扱われています。新学習指導要領で新たに設定された項目が、各プログラムで設定されているという点も参考にしました。

議長 開隆堂 5 人、三省堂 1 人、光村 1 人となっています。

それぞれ委員の意見を聞いてのご意見をお聞かせ下さい。付け加えたい意見はありませんか。

委員 (なし)

議長 それでは、投票としてよろしいでしょうか。

委員 はい。

投票

事務局 開隆堂 5 人、三省堂 1 人、光村 1 人です。

議長 投票の結果、開隆堂 5 人、三省堂 1 人、光村 1 人で、開隆堂が過半数となりました。
外国語英語については、開隆堂を選定してよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 続いて、特別の教科道徳の協議です。

⑩中学校「特別の教科 道徳」

委員 道徳は非常に悩みました。調査員の資料を読みました。現職の時に「道徳ノート」が使いたいけど使えないという事を思い出しました。もし今、中学校で指導するなら、「道徳ノート」に記入させることで評価につながられると思います。今年から「よい子の歩み」に道徳の評価部分が設けられました。評価のことを考え、暁を選びました。

「考える」、「話し合う」で、学習の流れが捉えやすいということや、教材毎の終末に書かれている発問が、誘導的ではないこと。ワイドな AB 版で、ゆとりある紙面になっていて、圧迫感がないということが評価できます。イラストが大きく扱われ、生徒にとって見やすく読みやすい紙面になっています。

委員 大変悩みました。今、決断しました。教育出版を推薦します。本文のタイトル下にある「投げかけの言葉」は、自分自身に気付きを喚起させるメッセージだなと思いました。教材の分量がほどよく、心穏やかに読める印象を受けました。教材の最後の「学びの道標」には発問が 3 段階あって、具体的で伝わりやすく、無理がなく学習の流れが把握しやすい印象を受けました。

委員 私も教育出版がいいと思います。生徒が興味を持つような身近なテーマ、「SNS」や「先輩」、「歩きスマホ」などが題材として設定されているので、無理なく主体的な学習ができるという感じがしました。

委員 日本文教出版を選択しました。学びの記録で比べてみました。教育出版は、テキストの裏に「学びを記録しよう」と「学びをふり返ろう」がありますが、日文と暁は別冊で道徳ノートがあります。また、日文は 1 時間ごとに記録ができ、自分への振り返りが効果的にできるように工夫されているので、日文の方が良いと考えます。個人的には暁も捨てがたいのですが、生徒や教師の使いやすさを考えると、総合的に日文だと思います。

委員 私も日文を選びました。理由としては、1 点目に、ノートを効果的に活用できると思うからです。2 点目に、中学生に道徳で触れさせたいテーマ、「いじめ」、「命」、「安全」、「環境」、「国際理解」と教材が設定されています。3 点目に、学習の進め方が設定されていて、道徳の学習過程である「気づく」、「考える」、「議論する」、「深める」、「みつめる」、「活かす」等が示されています。4 点目に、学習したことが日常生活に結びつくように、「自分に+1」が設定されていることです。5 点目に、中学校 3 年間を通して触れさせたい人物や教材が多方面から盛り込まれています。沖縄のバスガイド崎原さん、あいだみつおさん、

井上康生さん、吉田さおりさん、山中慎也さん、西岡さん等、いろんな方面から盛り込まれているのがいいなと思いました。

委員 日本文教出版を推薦します。各題材に、「考えてみよう」、「自分に+1」があり、付属の道徳ノートで自分の考えを記録したり生徒同士で議論ができるような内容となっています。中学1年生では、チムグクルのバスガイドということで「崎原まさみ」さんを4ページにわたって取り上げています。その次のページには、沖縄の児童生徒が書いた作品で平和メッセージ最優秀賞を受賞した「平和の詩『生きる』」が紹介されています。この二つの題材は、沖縄の歴史、沖縄にある様々な課題・取り組みについて考える機会になると思います。「生命」、「人権」、「平和」、「環境」等の題材は、より良い社会の創造について多面的に考え、課題の解決に向けた問いも設定されていました。本全体が明るくて、活字もしっかりとして読みやすいです。資料、写真、レイアウトも効果的な図書であると考えています。

委員 私も日文を推します。理由は、ノートで心の成長や変容を確認できるからです。先生方も助かると思います。個々にノートを準備させると、評価時に先生方の仕事が大変になることが予想されます。成長の記録は統一したノートがいいと思います。内容的には差はないと思いますが、教える側のことを考え、心の成長を確認するには日文がいいと考えます。

議長 教育出版2人、日文4人、暁1人となりました。
各委員の意見を聞いて、更に追加するご意見があればお聞かせください。

委員 (なし)

議長 それでは、投票にうつりますがよろしいですか。

委員 はい。

投票

事務局 日文6人、教育出版1人です。

議長 日文6人、教育出版1人で、日本文教出版が過半数を満たしました。よって、日本文教出版の教科書を選定します。よろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 これで、全ての選定が終わりました。選定結果をもう一度確認します。
国語、東京書籍。
書写、教育出版。
地理的分野、帝国書院。
歴史的分野、帝国書院。
公民的分野、育鵬社。
地図、帝国書院。
数学、東京書籍。
理科、東京書籍。
音楽一般、教育芸術社。

音楽器楽・合奏、教育芸術社。
美術、日本文教出版。
保健体育、学研教育みらい。
技術家庭技術分野、東京書籍。
技術家庭家庭分野、東京書籍
外国語英語、開隆堂。
特別な教科道徳、日本文教出版。
以上のように選定されましたので、ご確認をよろしく申し上げます。
ぞれでは、進行を司会に戻します。

事務局 教科用図書選定の議事は終わりましたが、請願書が届いていますので、ご報告と、ご意見を伺いたいと思います。
まず「子どもと教科書を考える八重山地区住民の会」からの請願書です。事務局の方で読み上げます。

事務局 「2021年度使用中学校教科用図書の選定・採択に関する請願書」
ここから、意見交換については、進行を会長でお願いします。

会長 「1 協議会の委員構成」についての「協議会委員のうち教育委員 5名で占めている」という点について。

協議委員には、教育委員とPTA代表、学識経験者が加わっています。協議委員の中には、教育現場を経験した先生方が8名中6名いらっしゃいます。中学校で教科指導に携わったことのある先生方もいらっしゃいます。調査委員の報告書をしっかりと読み取って、各協議委員が研究を進め、今日の会議ができていいるのではと考えておりますが。

委員 協議会規約には、教育長2名、その他の委員について書かれており、規約通りにいくと問題ないと考えます。それがダメというなら、規約を直さないといけませんね。

委員 規約は今のままでいいと思います。教育委員5名とありますが、教育委員は、市民代表、住民の代表、保護者の代表です。そういう観点からも、我々は、市民に向けて、市民を代表して意見を発しています。教育委員5名については、そのままでいいと考えます。

会長 教育委員、学識経験者、地域、PTAから、それぞれの立場を代表して、参加していただいているので、そのままでもいいとのご意見ですね。

委員 はい。

会長 続いて、「2 調査員の調査研究報告書が選定会議に反映されることについて」です。今日の会議でもありますが、調査員の報告はしっかり読み取り、熟知し、参考にしてご意見をいただいたと思います。委員の皆さんはいかがですか。

委員 「調査員の報告書の内容の形骸化が危惧される。」とあります。育鵬社の教科書については、いくつかの教科書と同様、特筆する記述はありませんでした。しかし、内容を皆で吟味した結果、育鵬社が選ばれたわけですね。このことが、問題視される訳ですか。

実際に私達が調査するときは、調査員の報告書をしっかり読んで、参考にしています。沖縄県教育委員会の選定資料と調査員の報告書をチェックしながら教科書の確認をしました。そういう意味では、全然形骸化していないと考えます。しっかり参照しながら、な

おかつ、一人ひとりの調査員が読み込んで今日の会議があります。決めつけられるのはいかがなものか。

会 長 他、ご意見はありませんか。

調査員の報告を見て、まる（○）や三角（▼）を踏まえて、更に自分なりに、協議委員なりに読み込んだ上で調査しているので、それを全く無視している訳ではないということでしょうか。

委 員 はい。

会 長 「3 非公開について」ですが、委員の皆さんのご意見はありますか。

委 員 以前は、何年か前までは公開していたんですよね。教科書問題が起こったとき、傍聴する方から強いヤジがあったりしたことは聞いています。そういう面からみると、こういう場は非公開がいいです。

選ぶ人間としては、側から反対意見やヤジがあると苦しいです。非公開の今でも緊張します。ましてや、強いヤジがあれば、協議で正しい判断ができません。

公開が筋かもしれませんが、協議過程を会長が報告するという形なら非公開でいいのではと考えます。思想を持つ人が来て、私がおの方の意に沿わない発言をしたら、大変なことになるのではないかと思います。採択までの流れを発表するのなら、会議は非公開でいいのではないかと考えます。

委 員 前の方の意見を聞くと、請願書の2行目「審議に影響を与えるということでしょうか。」は、「審議に影響を与える」ということになります。そうすると、よろしくない結果になります。

3行目「非民主的な運営になる」と断定されていますが、今日の私達の会議は非民主的な運営だったのでしょうか。皆さんどうでしたか。お互いに確認するしかないのですが。

委 員 この状態が一番いいと思います。1～2ヶ月前から教科書を読み込んでいます。沖縄県教育委員会や調査員の先生方の意見を考慮し、最終的に自分の意見を持って来て、正確に自身の意見が発言できる場が必要です。

色んな方がいると、自分の心の動きで、本当の意志とは違う意見が出てしまうことがあります。それはいけません。

お互いの理解がある会議で、今の状態がいいと思います。後で、会長の方から、社会に対してマスコミ等を通して、どのような過程をとったかを報道する形がいいです。今のとおりがいいです。

会 長 やってきたことを、マスコミ等を通して伝えていくということでしょうか。また、組織は今のままでいいということでしょうか。

委 員 はい。

会 長 事務局から他に何かありますか。

事務局 はい。「子どもと教科書を考える八重山地区住民の会」から「要望書」も届いております。長文になるので、目を通していただけますでしょうか。

趣旨としては、育鵬社の公民教科書「見本本」に、当事者に了解なく掲載された写真が

あるとの内容です。その方は、見本本の回収を要求しているということで、本教科書は不適切だという内容です。しばらく要望書に目を通していただけますでしょうか。

会 長 要望について、対象教科書は見本として配られています。要望書の内容は、現段階で事実かどうか判断できません。顔写真または家屋の写真等は全て許可を得て教科書に使用されているものだと思います。

委 員 事実なんですか。

会 長 現時点では事実かどうか分かりません。

委 員 これなら検定を通らないのではないのでしょうか。文科省の検定教科書を前提として我々は選定しています。要望書の内容が正しいのなら、文科省が検定を通すこと自体がおかしくなります。

会 長 検定教科書であるという前提で現物を見て選定を行っています。事実かどうかは要望書の内容では分かりません。

委 員 問い合わせ先に聞けば訴えられているものは分かるのでしょうか。見本の教科書を読んでも分からないです。

委 員 何ページのどの写真か分かりません。

会 長 「こういうものがあります。」との要望であり、回答を求めているものではありません。

委 員 育鵬社のものだけですか。

会 長 そうです。

委 員 教科書の中には「沖縄が捨て石」という表現もありました。

委 員 色んな教科書に「えっ」という表現はありますが、文科省検定を通過しています。

委 員 なぜ、育鵬社だけやり玉にあげられるのかが知りたいです。

委 員 教科用図書は、前提として文科省の検定をパスしています。これが大前提。中味については、私達では調べられません。

会 長 ではこれで、意見をまとめます。

文科省の検定を通るため、各教科書は修正等を行っています。最終的に検定を通った教科書が配付され、私たちは調査し、協議し、選定しています。こういう要望があるということをご承知おき下さい。

会 長 事務局から他にありますか。

事務局 ありません。

- 会 長 それでは、これで本日の議事は終了となります。
 再度確認いたします。
- 本日の協議内容と選定結果については、後日開かれる石垣市及び与那国町教育委員会で採択が終了するまで、口外しないようにお願いします。
- また、会議終了後の報道機関への取材は、会長で対応いたしますので、よろしくお願ひします。では、進行を司会に戻します。
- 司 会 委員の皆さん、本日は本当にお疲れさまでした。また、これまでの研究、ありがとうございました。
- 司 会 今後の日程について説明いたします。会長からもありましたが、本日の選定結果は、明日以降に石垣市教育委員会、与那国町教育委員会のそれぞれの教育長あてに、八重山採択地区協議会長名で「答申」としてお伝えいたします。
- その後、それぞれの教育委員会で、採択に向け教育委員会議が開催され、令和 3 年度使用中学校教科用図書採択となります。
- 会長からもありましたが、採択に係る全ての会議が終わるまでは、協議内容について口外しないようによろしくお願ひいたします。
- 司 会 本日は、大変長丁場となりましたが、各委員のご協力のもと、全教科において教科用図書を選定することができました。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。
- それでは、これで、令和 2 年度教科用図書八重山採択地区協議会を閉会いたします。